

令和4年度「県民ふるさと大賞」表彰団体の功績概要

(五十音順・敬称略)

■ 6 団体

○特定非営利活動法人えがおプロジェクト (富山市)

ひとり親家庭が交流する場の提供、食品支援のほか、相談支援、専門家・行政機関等への同行支援も行うなど10年以上にわたり、地域においてひとり親家庭に寄り添った支援を実施している。また、コロナ禍において、フードパントリー、オンライン交流会の開催、国や自治体が行う支援策の情報提供、個別の食品支援や地域の飲食店と協力して外出が難しい家庭への弁当提供などの支援を強化している。

○特定非営利活動法人大空へ飛べ (小矢部市)

「子どもたちのすこやかな成長と平和な未来のために みんなが手をつなぐ場を」をスローガンにして、1986年より36年間様々な活動に取り組んでいる。多世代や障がい者の方も参加したコンサート、不登校の子どもたちの居場所づくりやひとり親等の子どもたちのための無料学習支援。さらに、保護者の困りごとを相談できる「子育てカフェ」の運営、震災復興支援として、募金活動や現地の方々との交流を行っている。

○砺波市立梅檀山公民館 (砺波市)

梅檀山地区は、砺波市内で最も人口規模が小さく高齢化率も高い(54.1%)地区であるが、公民館活動は異世代交流ができる行事となるよう、内容に毎年工夫を加えている。近年は、複数行事の同日開催を進め、参加する住民の負担を軽減しつつも歴史ある行事を消滅させずに、活動を盛り上げ賑わい創出となるよう努めており、住民のつながりやふるさとへの誇り・愛着を高める活動となっている。

○富山県フォレストリーダー協会 (射水市)

県内各地の小中学生や一般県民に対して森林環境教育の指導者として、森林・林業に関する理解を深め、森を支える人づくりの意識醸成のため活動している。「とやま森の教本(県作成)」を用いた講義や、樹木観察・木工クラフトや出前講座など行う「森の寺子屋」の開催を通して、とやまの森林の姿や森の恵みなどについて普及活動を行っている。

○富山県立滑川高等学校 (滑川市)

平成22年の再編統合以降、地元企業等の協力を得て、地域資源の活用やふるさとの魅力を発信する活動に取り組んでいる。海洋科では、ホタルイカ漁で破棄される鰯を活用する地域課題解決に取り組むほか、地元水産資源保護活動や環境保全活動に継続的に取り組んでいる。薬業科では、くすりの富山エキスパート事業、きらめきエンジニア事業で企業や大学と連携した商品開発にも取り組んでいる。

○入善町立上青小学校 (入善町)

校区内にある国天然記念物「杉沢の沢スギ」の愛護活動を通して、郷土愛を育むとともに、ボランティア意識の向上を図っている。5、6年生が文化財愛護少年団の団員となり、年2回の愛護活動を行っている。「沢スギの日」を設け、「沢スギの日」の学習を学校の教育計画に位置付け、全学年が沢スギ林に出かけ学習活動を行うなど、学校の教育活動に深く根ざし、ふるさとを愛する心を育てている。